

特集

商工会物語 3

頑張るあなたの夢、
応援します。

(有)久米島特産品開発 & 久米島商工会

商工会との出会い!



当時の思い出を語る田場恵子さん

(有)久米島特産品開発の田場恵子さんの商工会との出会いは、20代のころ現在の久米島商工会が合併する以前の具志川村商工会にさかのぼる。「だいぶ前のお話なので、知人の紹介で入会したのが、きっかけだったと思いますが、はっきり覚えていませんね」と話す田場さん。

現在は久米島商工会女性部の部長を務めおり、今思えば商工会会員となるのは自然な流れだったと語る。田場さんは、商工会入会

と同時に女性部にも入部し、女性部活動を通し、経営のノウハウを学び、先輩の皆さんからは、公私とも色々な面でアドバイスをいただき、本当に入部して良かったと、思い出深そうに語ってくれた。

久米島の良さをアピールしたい!

田場さんは、このたび久米島で豊富に採れる紅芋に目を付け、久米島の特産品として「久米島の紅芋スティック」を商品化した。商品化に向けては、さまざま

な試行錯誤があった、紅芋一つをとっても栽培される畑によつて味が変化しました。またスティック状にする際の大きさへのこだわり、揚げ方、砂糖とのからめ具合、油にも、大いにこ



↑商標登録証を手にする田場恵子さん
久米島の紅芋スティック→



だわった。久米島の良さを特産品開発という形でアピールしたい一心だった。そうした苦労の中、商標登録に向けて、二人三脚で頑張ったのが、大城盛治経営指導員だった。大城指導員の熱心なアド



大城盛治指導員と田場恵子さん! 夢に向かってGO!

バスもあり、平成22年8月13日には、めでたく商標登録承認となった。最後に田場さんは、「商工会は身近な地域の味方、多くの方々にもっと利用してほしい!」と語った。その田場さんの目はキラキラ輝き、すでに次の特産品作りに夢は膨らんでいるようだった。

商工会をもっと利用して!